

平成27年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

考えようねット vol. 2 ～親子で学ぶインターネット安全研修会～

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

情報収集や情報伝達を行うためになくはないインターネットの使い方について、ワークショップを通して親子で安全に利用できるように正しい知識と理解を図る。

2. 事業の概要

（1）期日

平成28年1月30日（土）日帰り

（2）参加者

吉備中央町立吉備高原小学校児童及び保護者

児童58人、保護者36人

（3）会場

吉備中央町立吉備高原小学校

（4）講師等

株式会社 Compallet 代表取締役 桐野志摩美 氏

（5）企画・運営のポイント

- ① 吉備高原小学校と連携を図り、児童の携帯電話の所持率及びゲームの利用時間等の情報をいただき、実態に応じた内容を検討した。
- ② 児童及び保護者が身近にあるゲーム・スマホの利用方法の理解と危険性を実感できるような内容で講義等を設定していただいた。

3. 活動の内容等

（1）日程

1月30日（土）	
9:25	開会式
9:30	講演会 テーマ「みんなで考えよう！ーゲーム・スマホとのつきあい方ー」
10:10	児童・保護者対象（40分） 保護者対象（25分）
10:35	閉会式

（2）活動の状況



【開会式】



【講演会】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：89% やや満足：11%

(2) 参加者の声

- ① スマホ、ゲームは持たせていないが、持たせる場合は良く考えて子供と話し合
って持たせないといけないと思った。
- ② 子供がパソコンのネットゲームをしているので、気を付けなければいけないと
思った。デジタル機器の怖さを思い知った。
- ③ 便利なものを正しく使うことを早い時期から学ぶことはこれから必要だと思う。
間違うと怖いことも学んでほしいと思う。

(3) 成果

- ① ゲームでのインターネット利用をもとにした講義で、ゲームで世界各国の人々
とつながっていることや登録名から個人情報流出するなど、児童及び保護者共
にインターネットの危険性を分かりやすく学ぶことができた。
- ② 児童及び保護者を対象とすることで、インターネットについての共通理解が得
られ、親子で話し合う機会を提供することができた。

(4) 今後の課題

講師との打ち合わせの中で、幼い頃からインターネットの利用方法を知ることが
重要であるとの認識から1年生から6年生までの全児童を対象としたことが指導の
必要性を再認識できた。

担当：企画指導専門職 大下 展弘